

第二次佐久市総合計画前期基本計画目標設定について

1 目標設定案

(1) 目標設定の概要

以下の方針により、目標設定することとする。

- ア 総合戦略をベースとして施策横断的な重点プロジェクトを設定し、プロジェクトごとに目標設定（総合戦略ベース）する（1プロジェクトに1目標）。
- イ 施策には、市民満足度調査（2年ごと実施）をベースとして、施策目標を設定する（1施策1目標）。
- ウ その他重点的に管理すべき統計指標は、重点管理項目として設定する（全体で20～30程度）。

(2) それぞれの目標設定の詳細

ア 重点プロジェクト設定とその目標設定 資料2

総合戦略の基本目標をベースに重点プロジェクトを設定する。その重点プロジェクトに数値目標を設定する。

(ア) 重点プロジェクトの設定

総合戦略の4つの基本目標をベースとしたプロジェクトを設定するとともに、第二次総合計画の将来都市像「快適健康都市」を踏まえ、「健康長寿」を促進するためのプロジェクトを新たに設定する。

プロジェクトは、複数の施策を横断することとなるため、プロジェクトと施策の関係性を示すこととする。

(イ) プロジェクトに対する数値目標の設定

それぞれの重点プロジェクトに対し、数値目標を設定する。

数値目標は、総合戦略の基本目標に基づくプロジェクトについては当該基本目標における数値目標をベースとし、新たなプロジェクト（健康長寿）については、市民の健康寿命の延伸に着目し設定する。

イ 施策目標（市民満足度） **資料3**

平成28年度の市民満足度調査の結果を基準値として、平成33年度における市民満足度の達成目標を設定する。

また、単に28年度の結果のみに着目するのではなく、過去の調査結果も確認し、その傾向を考慮した上で設定する。

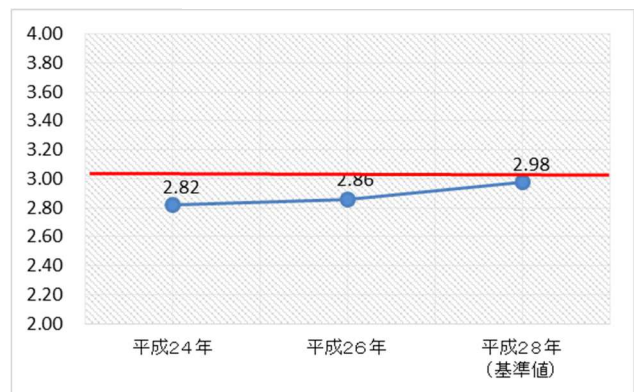
なお、総合計画審議会において、今後、進行管理を行うこととなることに留意し、目標の設定根拠も併せて作成する。

イメージ

施策：観光

「観光」についての満足度指数

満足度指数の推移



ウ その他管理すべき統計指標（重点管理項目） **資料4**

その他管理すべき統計指標を重点管理項目として目標設定する。

設定に当たっては、総合戦略をはじめとする各種計画の目標に留意するとともに、可能な限りアウトカム（成果）に着目した項目とする。また、基準値となる年度の数値のみに着目するのではなく、過去の当該数値の推移も確認し、その傾向を考慮した上で目標設定する。

なお、本項目は、今後の進行管理の対象とはしないものと考えているが、計画期間内の各年度の達成状況については、公表していく予定であることから、目標値の設定根拠も併せて作成する。

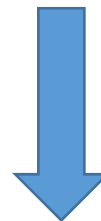
2 今後の進行管理方法等の案

(1) 重点プロジェクト目標の進行管理

プロジェクトの数値目標の実績からプロジェクトの今後の方針を示す。

(2) 施策の進行管理

施策目標（市民満足度）の実績から施策の今後の方針を示す。



総合計画審議会では、プロジェクト、施策毎の今後の方針について協議いただき、今後取り組むべきことなどについて意見をいただく。

(3) その他管理すべき統計指標（重点管理項目）

目標管理を行い公表していくこととする。